

令和5年度版『ひろがることば しょうがくこくご 一下』年間指導計画・評価計画（案）

単元・教材のねらいと、「学習指導要領」に示された「指導事項」「言語活動例」から、あてはまるものを表示。重点指導事項には、◎を付した。

△知技 ◇話すこと・聞くこと ■書くこと □読むこと ☆他教科との関連

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項(1)・言語活動例(2)〉	時	学習活動	評価規準
10	2	しを よもう あめの うた	<p>□イメージの広がりや音読をとおして、詩を楽しむ。</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ</p> <p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒◎知技(1)ク</p> <p>□場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒◎思判表C(1)エ</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p>	1・2	<p>1. 詩を楽しく読むことを知る。</p> <p>(1) 声に出して読む。</p> <p>(2) 様子を思い浮かべながら音読する。</p> <p>(3) 好きなところを発表し合う。</p> <p>(4) お互いの音読を聞き合い、よかったことを伝える。</p>	<p>◎【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(〔知識及び技能〕(1)ク)</p> <p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ)</p> <p>【態度】進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。</p>
10	6 (書く6)	見つけたよ、いきもの ひみつ	<p>■生き物と触れ合ったことや見聞きしたことを思い出して書く。</p> <p>△長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)ウ</p> <p>■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒◎思判表B(1)ア</p> <p>■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ</p> <p>■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ</p> <p>■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p> <p>☆生活科：観察カードを書く活動などに生かすことができる。</p>		<p>○学習の見通しをもつ。</p> <p>決めよう・集めよう（重点）</p> <p>1. 生き物と触れ合ったことや見聞きしたことから、伝えたい生き物を決める。</p> <p>組み立てよう</p> <p>2. よく思い出して、メモに書く。</p> <p>書こう</p> <p>3. メモに書いたことから、伝えたいことを選び、書く。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>◎【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)ウ)</p> <p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bア)</p> <p>【態度】積極的に経験したことから書くことを見付け、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。</p>

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項(1)・言語活動例(2)〉	時	学習活動	評価規準
11	5 (話す聞く 5)	えを見て おはなししよう	<p>◇絵を見て話題を見つけ、友達と話したり、友達の話を聞いて答えたりする。</p> <p>△音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。⇒知技(1)イ</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)オ</p> <p>◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒◎思判表A(1)ア</p> <p>◇相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基いて、話す事柄の順序を考えること。⇒思判表A(1)イ</p> <p>◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。⇒思判表A(1)ウ</p> <p>◇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。⇒思判表A(1)エ</p> <p>◇互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。⇒思判表A(1)オ</p> <p>◇尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。⇒思判表A(2)イ</p>	1 2・3 4・5	<p>○教材名を読んで学習の見通しをもつ。</p> <p>決めよう・集めよう(重点)</p> <p>1. みんなで話し合っ、それぞれのうさぎに名前をつける。 ・提示された絵を見て、場面の設定や状況をつかみ、話題を見つけて対話する。</p> <p>2. 好きなうさぎになって、自己紹介をし合う。 ・話題にしたいことを選んでカードに書く。</p> <p>3. それぞれのうさぎの言葉を考えて話す。 ・二人組みを作り、カードをもとに対話する。</p> <p>○学習を振り返り、感想を書いたり伝え合ったりする。</p>	<p>◎【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。(【知識及び技能】(1)オ)</p> <p>◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(【思考力、判断力、表現力等】Aア)</p> <p>【態度】進んで話題を決め、学習課題に沿って少人数で話し合おうとしている。</p>
11	2	かん字の ひろば ① 日づけと よう日	<p>△日付と曜日を表す漢字を正しく読む。</p> <p>△第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p>	1 2	<p>○学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1. 今日は、何月何日かを確かめ、日づけの読み方を考える。</p> <p>2. カレンダーから曜日の漢字を集め、読み方について話し合う。</p> <p>3. 日づけや曜日の読み方に慣れる。</p> <p>4. 「日づけのうた」と「よう日のうた」を楽しく唱える。</p>	<p>◎【知識・技能】当該学年に配当されている漢字を読んでいる。(【知識及び技能】(1)エ)</p> <p>【態度】積極的に漢字を読み、学習課題に沿って音読しようとしている。</p>

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項(1)・言語活動例(2)〉	時	学習活動	評価規準
11	16(書く10)	二 しやしんと 文から、だ れが なにを したかを しかめよう	□■写真と文から誰が何をしたかを読み、写真か ら言葉を想像してお話を書く。			
11	10 (書く4)	うみへの ながい たび	□白くまの様子を考えながら声に出して読み、写 真と文から、誰が何をしたかを確認する。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験した ことを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒ 知技(1)ア △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音 読すること。 ⇒◎知技(1)ク ■経験したことや想像したことなどから書くこと を見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりし て、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表 B(1)ア □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大 体を捉えること。 ⇒◎思判表C(1)イ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具 体的に想像すること。 ⇒◎思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想 をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有 すること。 ⇒思判表C(1)カ ■簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像し たことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ □読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりし て、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりす る活動。 ⇒思判表C(2)イ ☆道徳：D生命の尊さ 生きることのすばらしさ を知り、生命を大切にすること。	1 2・3 4～6 7 8～10	○単元とびらを読み、写真と文から誰が何をしたか を確認しながら、『うみへの ながい たび』を読 むことを確認する。 確かめよう 1. 「ながいたび」は、どのようなたびなのか考え ながら読む。 (1) 何枚の写真があるか確認する。 (2) それぞれの写真で、誰が何をしているところか を話し合う。 考えよう 2. できごとの「じゅんじょ」を確認しながら読 み、場面ごとの登場人物の様子を具体的に想像す る。 (1) P33の写真と、P55の写真を比べて違いを見つけ る。 (2) かあさんぐまが、白くまの兄弟を産んでから、 P35の写真のように育つまでにどのくらいの時間が 経っているのか確認する。 ※時を表す言葉を見つけて、ノートに書きながら、 話の「順序」を確認する。 深めよう 3. いちばん好きな写真を選んで、友達に紹介す る。 広げよう 4. かあさんぐまや子ぐまになったつもりで、言葉 を考え、発表する。	◎【知識・技能】語のまとまり や言葉の響きなどに気を付けて 音読している。(【知識及び技 能】(1)ク) 【思考・判断・表現】「書くこ と」において、経験したことや 想像したことなどから書くこと を見付け、必要な事柄を集め たり確かめたりして、伝えたい ことを明確にしている。(【思考 力、判断力、表現力等】Bア) ◎【思考・判断・表現】「読む こと」において、場面の様子や 登場人物の行動など、内容の大 体を捉えている。(【思考力、 判断力、表現力等】Cイ) ◎【思考・判断・表現】「読む こと」において、場面の様子に 着目して、登場人物の行動を具 体的に想像している。(【思考 力、判断力、表現力等】Cエ) 【態度】進んで場面の様子に着 目して登場人物の行動を具体的 に想像し、学習の見通しをもつ て考えた言葉を発表しようとし ている。
11	6 (書く6)	きこえて きたよ、こんな ことば	■写真をもとに、ふきだしの中の言葉を考えて、 お話を書く。 △長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の 「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打 ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文 章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読 み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知 り、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)ウ ■経験したことや想像したことなどから書くこと を見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりし て、伝えたいことを明確にすること。 ⇒◎思判 表B(1)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の 順序に沿って簡単な構成を考えること。 ⇒思判 表B(1)イ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内 容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫す ること。 ⇒思判表B(1)ウ ■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違い を正したり、語と語や文と文との続き方を確かめ たりすること。 ⇒思判表B(1)エ ■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内 容や表現のよいところを見付けること。 ⇒思判 表B(1)オ ■簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像し たことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ	11 12・13 14・15 16	○P52～55を読み、学習活動を理解して見通しをも つ。 決めよう・集めよう(重点) 5. 写真を見て、気づいたことを出し合ったり、想 像したことを話したりする。 組み立てよう 6. 写真を見て、心に浮かんだ言葉や想像した言葉 をふきだしに書く。 (組み立てを考えて)書こう・読み返そう 7. 8ふきだしをもとに、お話を考え、読み返す。 伝え合おう 9. 友達と読み合う。 ○学習を振り返る。	◎【知識・技能】長音、拗音、 促音、撥音などの表記、助詞の 「は」、「へ」及び「を」の使 い方、句読点の打ち方、かぎ (「」)の使い方を理解して文 や文章の中で使っている。 (【知識及び技能】(1)ウ) ◎【思考・判断・表現】「書く こと」において、経験したこと や想像したことなどから書くこ とを見付け、必要な事柄を集 めたり確かめたりして、伝え たいことを明確にしている。(【 思考力、判断力、表現力等】B ア) 【態度】進んで想像したことか ら書くことを見付け、今までの 学習を生かして簡単なお話を書 こうとしている。

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項(1)・言語活動例(2)〉	時	学習活動	評価規準
12	4 (書く4)	こころ ぼかぼか 手がみを かこう	<p>■相手を決めて、気持ちが伝わるように手紙を書く。</p> <p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒ ◎知技(1)ア</p> <p>■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア</p> <p>■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ</p> <p>■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。 ⇒思判表◎B(1)エ</p> <p>■日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)イ</p>	1	○学習の進め方を理解し、見通しをもつ。手紙を書くことに興味をもつ。	◎【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア)
				2	決めよう・集めよう 1. 伝えたいことや、相手を決める。	◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bエ)
				3	書こう・読み返そう 2. 手紙を書いて、読み返す。	【態度】粘り強く文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正し、学習の見通しをもつて手紙を書こうとしている。
				4	伝え合おう 3. 手紙を渡す。 ○学習を振り返る。	

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項(1)・言語活動例(2)〉	時	学習活動	評価規準
12	10	三 ばめんの ようすをく らべて よもう	□人物の動きや場面の様子の楽しさを読み、読書の世界を広げる。			
12	5	スイミー	□どのようなお話が考えながら読み、おもしろかったところを紹介する。 △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ △読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。 ⇒◎知技(3)エ □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)イ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒◎思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒思判表C(1)カ □読み聞かせを聞いたり物語などを读んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ ☆道徳：D生命の尊さ 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。	1 2・3 4 5	○単元とびらを読み、場面の様子を比べながら『スイミー』を読むことを確認する。 確かめよう 1. スイミーにどんなできごとがあったのか、考えながら読む。 (1) お話しに、誰が出てきたか、出てきた順番に確かめる。 (2) 心に残ったことを話し合う。 考えよう 2. スイミーは、始めと終わりでどのように変わったか話し合う。 深めよう 3. スイミーはどうして変わったのか、場面の様子に気をつけながら読み、訳を考える。 広げよう 4. 好きな場面を選んで、スイミーになったつもりで、言葉を考える。	◎【知識・技能】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(【知識及び技能】(3)エ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(【思考力、判断力、表現力等】Cエ) 【態度】進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って考えた言葉を発表しようとしている。
12	5	「おはなしどうぶつえん」をつくって、本をしょうかいしよう	□動物の出でくる本を読んで、友達に紹介する。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒◎知技(1)ア □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒◎思判表C(1)カ □読み聞かせを聞いたり物語などを读んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ □学校図書館などを利用し、図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動。 ⇒思判表C(2)ウ	6 7・8 9・10	○「おはなしどうぶつえん」を作り、動物の出でくるお話を紹介するという学習内容をつかみ、学習の見直しをもつ。 1. 動物の出でくる本を探して、読む。 2. 紹介カードを書き、動物ごとに貼り、「おはなしどうぶつえん」を作る。 「おはなしどうぶつえん」を開き、本の紹介をする。 (1) 好きな場面や心に残ったことを発表し合う。 (2) 紹介された本を読み、「おきゃくさまカード」を貼る。	◎【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(【知識及び技能】(1)ア) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(【思考力、判断力、表現力等】Cカ) 【態度】積極的に文章を読んで感じたことや分かったことを共有し、今までの学習を生かして「おはなしどうぶつえん」を作り、本を紹介しようとしている。
1	1	しを たのしもう ゆき	△イメージの広がりや音読をとおして、詩を楽しむ。 △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒◎知技(1)ク □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒◎思判表C(1)エ □読み聞かせを聞いたり物語などを读んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ	1	1. 声に出して読み、言葉のリズムを味わう。 2. いろいろな雪と冬の季節の変化について考える。 3. 様子を想像して読む。 きゅっきゅとなく のしのしふる ずんずんもる など 4. 最後の一行にどんな気持ちがかもっているかを考えながら読み、詩を楽しむ。	◎【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(【知識及び技能】(1)ク) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(【思考力、判断力、表現力等】Cエ) 【態度】進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見直しをもって音読しようとしている。

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項(1)・言語活動例(2)〉	時	学習活動	評価規準
1	14 (書<5)	四 ぶんしょうと えを あ わけて よもう	□文章と絵の対応に気をつけながら読み、いろいろな身振りが表すことを説明する文章を書く。			
		みぶりで つたえる	△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒ ◎知技(1)ア △丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。 ⇒知技(1)キ △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ □時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)ア □文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。 ⇒思判表C(1)ウ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒◎思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒◎思判表C(1)カ ■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア □事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。 ⇒思判表C(2)ア ☆総合的な学習の時間・生活科など：日常生活の中で使う身振りについて振り返り、気持ちを相手に伝える際に役立てる。	1 2 3～5 6・7 8～12 13・14	○単元名やリード文から学習の見通しをもつ。 身振りや手振りのことで知っていることや、本文の中に書かれているものの中で、自分が行ったことのあるジェスチャーについての話をする。 確かめよう 1. 書かれていることの大体を確かめる。 (1) 挿絵に番号をつける。 (2) どの文がどの絵のことを説明しているのか、確かめる。 考えよう 2. 文章と絵から話していることを想像する。 (1) P95までの絵にふきだしをつけて、どんなことを伝えようとしているかを書く。 (2) 書いたことを友達と読み合う。 深めよう 3. 日常生活の中にある身振り手振りについて考える。 ・日常生活の中で、どんな気持ちの時にどんな身振りをしているか、経験を話し合う。 広げよう 4. 身振りについて考え、説明する文章を書く。 (1) 日常生活の中にある身振り手振りを説明する文章を、絵を交えて書く。 (2) 友達と、書いたものを読み合う。 5. 言葉のはたらきと身振りのはたらきを比べて、考えたことを話し合う。 ○学習を振り返る	◎【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(【知識及び技能】(1)ア) 【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(【思考力、判断力、表現力等】Bイ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(【思考力、判断力、表現力等】Cオ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(【思考力、判断力、表現力等】Cカ) 【態度】積極的に文章の内容と自分の体験とを結び付けて、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
1	1	文を つくろう	△主語と述語の関係に気をつけながら、いろいろな文を作る。 △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 ⇒◎知技(1)カ △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア	1	○冒頭の会話文を通して、文作りに際して主語と述語の対応が重要だということを知る。 1. P102に描かれた事柄を、「だれ(なに)がどうしています」の文型に当てはめながら文を作り、発表する。 ○学習したことを振り返る。	◎【知識・技能】文の中における主語と述語との関係に気付いている。(【知識及び技能】(1)カ) 【態度】進んで文の中における主語と述語との関係に気付こうとし、学習課題に沿って簡単な文を作ろうとしている。

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項(1)・言語活動例(2)〉	時	学習活動	評価規準
1	2	かん字の ひろば ③ かわる よみかた	<p>△使い方によって漢字の読み方が変わるものがあることを理解する。</p> <p>△第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p>	1	<p>○学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1. P104上段の文を声に出して読み、「一台」と「一軒」の読み方を比べ違いを考える。</p> <p>2. P105上段の設問を考え、それぞれの言葉の読み方を確かめ、話し合う。</p>	<p>◎【知識・技能】当該学年に配当されている漢字を読んでいる。(〔知識及び技能〕(1)エ)</p> <p>【態度】進んで漢字を読み、今までの学習を生かして使い方によって読み方が変わる漢字を知ろうとしている。</p>
			2	<p>3. P105下段の設問を考え、それぞれの言葉の読み方を確かめ、それらの言葉を使って短い文を作り、発表し合う。</p> <p>○学習したことを振り返る。</p>		

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項(1)・言語活動例(2)〉	時	学習活動	評価規準
2	8 (書<8)	六 つたえたい ことを おもい出して かこう	■経験したことや見たことを思い出し、わかりやすい文章を書く。			
		おもい出の アルバム	△長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。⇒思判表B(1)イ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ ■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。⇒◎思判表B(1)エ ■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。⇒◎思判表B(1)オ ■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア	1 2・3 4～6 7・8	○「学習の進め方」を読み、学習の見通しをもつ。 決めよう・集めよう 1. 伝える相手を決め、伝えたいことを一つ選ぶ。 組み立てよう 2. 思い出したことを、メモに書く。 書こう・読み返そう(重点) 3・4. メモをもとに文章を書き、読み返す。 伝え合おう(重点) 5. 文章を読み合う。 (1) 友達同士で読み合う。 (2) 伝えたい相手に読んでもらう。 ○学習を振り返る。	◎【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 (〔知識及び技能〕(1)ウ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 (〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。 (〔思考力、判断力、表現力等〕Bエ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。 (〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ) 【態度】積極的に文章に対する感想を伝え合い、学習の見通しをもってよいところを伝え合おうとしている。
2	3	かん字の ひろば ④ にて いる かん字	△形の似た漢字を正しく読んだり、書いたりする。 △第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア	1 2 3	○学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 1. 「人」と「入」の形の似ているところ、違うところを考える。 2. 「木」と「水」、「字」と「学」、「右」と「石」の似ているところと違うところを話し合い、字形に気をつけて、正しく書く。 3. 字形の一部に同じ部分が含まれている漢字があることに気づき、仲間集めをする。 4. 「十」と「七」、「力」と「九」、「上」と「土」、「山」と「出」、「本」と「文」、「月」と「目」の似ているところと違うところを確かめ、字形に気をつけて、正しく書く。 5. 漢字の足し算・引き算の問題に取り組む。 6. 「ものかたちからできたかん字」の問題に取り組む。 ○学習したことを振り返る。	◎【知識・技能】当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。 (〔知識及び技能〕(1)エ) 【態度】積極的に漢字を読み、学習課題に沿って形の似た漢字を正しく読んだり書いたりしようとしている。

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項(1)・言語活動例(2)〉	時	学習活動	評価規準
2	1	しりとりで あそぼう	<p>△二音節単位でつなげていく「しりとり遊び」のあることを知り、実際に活動してみる。</p> <p>△音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p>	1	<p>1. 単語の語尾の一文字を次の単語の語頭にすえて遊ぶ「しりとり遊び」のルールを確認する。</p> <p>2. 絵を見ながらしりとりの言葉を確かめ、それぞれ何の仲間かを発表し合う。</p> <p>3. 何の仲間でしりとりをするかを決め、グループでしりとりをたのしむ。</p>	<p>◎【知識・技能】音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付いている。(【知識及び技能】(1)イ)</p> <p>【態度】進んで音節と文字との関係に気付こうとし、今までの学習を生かしてしりとりを楽しもうとしている。</p>

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項(1)・言語活動例(2)〉	時	学習活動	評価規準
2～3	15 (書<5)	七 ようすを おもいうかべ ながら よもう	□様子を思い浮かべて読み、登場人物に手紙を書く。			
		お手がみ	△文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 ⇒◎知技(1)カ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒知技(1)ク ■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)イ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒◎思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒◎思判表C(1)カ ■日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)イ □読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ ☆道徳：B友情、信頼 友達と仲よくし、助け合うこと。	1～6 7～10 11～15	○単元名やリード文から学習の見通しをもつ。 確かめよう 1. がまくんやかえるくんの行動を整理して、お話のあらすじをつかむ。 (1)挿絵を参考に、お話の順序を確認する。 (2)物語の概要をつかんでから、心に残ったところを話し合う。 考えよう 2. 二人の変化を読み取る。 ・始めと終わりで手紙を待つ場面がどのように変わったのか、理由も含めて考える。 深めよう 3. このお話の好きなところと、訳を話す。 広げよう 4. 登場人物の一人に宛てて手紙を書き、友達と読み合う。 ○学習を振り返る。	◎【知識・技能】文の中における主語と述語との関係に気付いている。(【知識及び技能】(1)カ) 【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。(【思考力、判断力、表現力等】Bオ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(【思考力、判断力、表現力等】Cオ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(【思考力、判断力、表現力等】Cカ) 【態度】進んで文章を読んで感じたことを共有し、学習課題に沿って登場人物に宛てて手紙を書くようとしている。
3	2 (話す聞<1, 書<1)	こくごの がくしゅう これ まで これから	◇■一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、楽しみながら学習できるようにする。 ◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒◎思判表A(1)ア ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒◎思判表B(1)ア ◇紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア ■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア	1	1. どんな言葉を学んできたのか思い出す。 2. 1. で思い出したことをみんなで交流し、共有する。 3. 2年生でどんな学習をしたいか希望を出し合う。	◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(【思考力、判断力、表現力等】Aア) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(【思考力、判断力、表現力等】Bア) 【態度】進んで話題を決め、今までの学習を生かして思い出したことや2年生でどんな学習をしたいかを共有しようとしている。